

箴言 第25章 25節

「遠い国からの良い消息は、
疲れた人への冷たい水のような。」

どれほど遠いところからの知らせかはわからない。しかし、疲れ、渴いた魂に届いているのは確かだ。良い消息が届く。遠いところに住む者の良い消息である。良い消息とはどのような知らせだろうか。しばらく離れている家族からかもしれない。長く会っていない友かもしれない。何かの事情で会えない仲間かもしれない。それでも届く消息は、互いを忘れていないからだ。置かれているところで精一杯生きている知らせだろう。良い日を過ごしていることを伝え、安心するようにと気遣う。

便りを受けた者は疲れている。しかし、待ちわびていた送り手からの良い消息を聞くことで魂が洗われる。渴く魂を潤す冷たい水のような、と受け手は動くところを表現する。砂漠を通り抜けたところか、砂漠のなかのオアシスで受けた便りであるかもしれない。疲れた心身を新たにし、再び立ち上がり一歩踏み出させる力がある。

地上の距離かも、時間の距離かもしれない、遠くなった者に自分はよくやっている、と自分の消息、こころを届ける。受け手はこころから聞き疲れから快復させられる。離れ、砂漠で疲れている者に届くこころの水がある。